

厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患政策研究事業）
分担研究報告書

中性脂肪蓄積心筋血管症の予後調査における慢性腎臓病の影響に関する研究

研究分担者 長澤 康行 兵庫医科大学 医学部 准教授

研究要旨

中性脂肪蓄積心筋血管症の研究班では、全国の診断例の予後調査を後ろ向きに行った。この予後調査で、死亡リスクとなるリスクファクターを検討し、糖尿病の有無、脂質異常症の存在は予後と相関がないことが明らかになった。その一方で慢性腎臓病の合併は死亡リスクを上昇させる予後因子となっていることが明らかになった。

A. 研究目的

中性脂肪蓄積心筋血管症は、原発性は非常に強い心不全症状を呈し予後が悪いことが明らかになっているが、特発性については詳細な予後や死亡リスクは明らかになっていない。

B. 研究方法

全国の中性脂肪蓄積心筋血管症診断が可能な施設で、後ろ向きに症例を登録し、その予後や死亡リスク因子を検討する。

（倫理面への配慮）

各施設において倫理委員会の許可を受ける。また、患者の登録にあたって、各施設内で適切に匿名化を行う。

C. 研究結果

中性脂肪蓄積心筋血管症の予後は5年死亡率30%程度と不良であった。この予後悪化させるリスクとして、糖尿病の合併・脂質異常症は有意差が無かったが、CKDの合併は有意に予後を悪くする因子であった。

D. 考察

心筋梗塞や脳梗塞など心血管疾患においてCKDの合併は、予後不良因子である。このため、中性脂肪蓄積心筋血管症の予後不良因子として、他の心血管疾患と同様の機序により予後を悪化させていることが考えられる。その一方で、腎臓は心筋と同様にエネルギー消費の多い臓器であり、中性脂肪蓄積心筋血管症のために脂肪酸代謝が悪いことが、腎臓のエネルギー供給も悪くしCKDが進行し、同時に心筋のエネルギー供給も十分でなく心血管事故も増えている可能性が考えられる。

E. 結論

中性脂肪蓄積心筋血管症の予後不良因子としてCKD（慢性腎臓病）が関与していることが明らかになった。

F. 健康危険情報

該当せず

G. 研究発表

1. 論文発表

1. Distribution of periodontopathic bacterial species between saliva and tonsils.

Nomura R, Nagasawa Y, Misaki T, Ito S, Naka S, Okunaka M, Watanabe M, Tsuzuki K, Matsumoto-Nakano M, Nakano K. *Odontology*. 2022 Dec 16. doi: 10.1007/s10266-022-00776-8.

2. Cnm of *Streptococcus mutans* is important for cell surface structure and membrane permeability. Naka S,

Matsuoka D, Goto K, Misaki T, Nagasawa Y, Ito S, Nomura R, Nakano K, Matsumoto-Nakano M. *Front Cell Infect Microbiol*. 2022 Sep 13;12:994014.

3. Utility of ultrasonography for predicting indications for tolvaptan in patients with autosomal dominant polycystic kidney disease. Iijima H, Tada T, Hashimoto M, Nishimura T, Kiriki M, Higashiura A, Iwasaki A, Honda M, Nagasawa Y, Yamakado K. *J Med Ultrason (2001)*. 2023 Jan;50(1):81-87.

4. Simultaneous Presence of *Campylobacter rectus* and Cnm-Positive *Streptococcus mutans* in the Oral Cavity Is Associated with Renal Dysfunction in IgA Nephropathy Patients: 5-Year Follow-Up Analysis. Misaki T, Naka S, Nagasawa Y, Matsuoka D, Ito S, Nomura R, Matsumoto-Nakano M, Nakano K.

Nephron. 2023;147(3-4):134-143.

5. Appropriate exercise might have some benefits for both mothers and their babies via epigenesis. Nagasawa Y, Yamazaki H, Shojima K, Shinmura K. *Hypertens Res*. 2023 Mar;46(3):762-764.

2. 学会発表

関連するものはなし

H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む）

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし